

種子の発芽研究まで踏み込んだ 法面緑化のパイオニア

東興ジオテック株式会社

1956年に、吹付機械を活用した各種工事を営む東興建設株式会社として設立され、2006年にGWA（現高松コンストラクション）グループの一員に。2010年にはみらいジオテック、大和ロックと合併、東興ジオテック株式会社に称号を変更した。2020年度の売上高は240億円。官公庁・NECCO等の公共系を中心とする土木部門と、製紙会社、製鉄会社や電力会社向けのプラント設備工事を営むCE部門の2つの事業部門を持つ。瀬高末広社長は「両輪の事業があるので企業環境に左右されにくい」と説明する。

主力の土木工事部門の大半は、斜面を安定させ、崩

壊や地すべりを防止する法（のり）面事業。道路や鉄道、治山、治水といった開発地域の斜面崩壊、地すべりや軟弱地盤への対策を施す工事だ。法面緑化では国内トップの実績を持つ。

◆吹付機の応用技術で事業拡大

きっかけは、1957年に日本で初めて吹付機を輸入したこと。主に建築物に対する吹付工事から道路法面へのモルタル吹付を拡大したが、「モルタルの代わりに芝の種子を盛土に散布したらどうかと考え、京都大学と共同開発したのが急速緑化工法の始まり」（瀬高社長）と説明する。さらに日産化学、日産緑化と共同で、盛土だけでなく岩盤などの無土壌地も緑化できる工法（現在の植生基材吹付工）を約20年かけて開発し、同社の緑化事業は一気に拡大した。

当時は外国産の芝のタネを輸入し法面に吹き付けていたが、その後は、業界に先駆けて国内で採取した在来種のタネを使用した法面の樹林化を事業化した。さらに自社でタネの貯蔵から発芽試験までを行う体制を確立。1996年に開設した日本樹木種子研究所でタネの貯蔵方法や発芽試験を繰り返し、独自開発の「早期発芽力検定法」をはじめとする特許技術を打ち立て、ついに法面にタネを播いて木を茂らせる工法に道を開いた。

◆地中事業や法面事業および耐火材でも独自技術

地中事業でも独自技術を有する。特に既設構造物など



日本で初めて輸入した米国製吹付機

経営目標／経営姿勢／存在意義

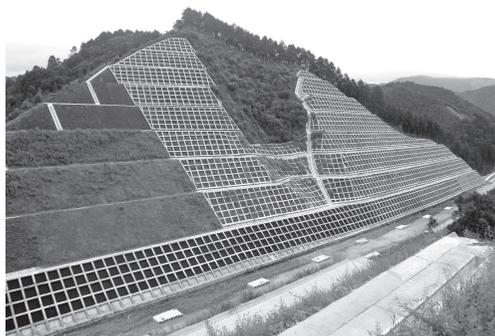
- < 経営目標 >
多くのステークホルダーに「より高い満足感」を感じてもらえるような、ユニークなグッドカンパニーを目標とする
- < 経営姿勢 >
経営目標達成のため、よりビッグでよりハイプロフィットなカンパニーを目指す
- < 存在意義 >
自然との調和を図り「生活基盤整備」「環境保全」などの事業を通じて豊かな生活環境を創造し、社会に貢献していくことを使命とするC&Cカンパニーである



代表取締役社長
瀬高 末広 氏

●長寿の秘訣

同社は社会や顧客のニーズに応じていくために、新技術・新工法など先進技術を研究・開発し、常に成長し続ける企業として社会に貢献してきた。またいち早く「環境アセスメント」思想を取り入れた事業を積極的に推進。現在では「SDGs」にも取り組んでいる。新入社員はじめ若い社員や女性社員の提案や意見を積極的に活かす「全員参加型の経営」を目指すなど建設業界のなかでは風通しの良さはトップクラスだ。これからも社員一同ステークホルダーの期待に沿うよう、より良い社会づくりに邁進していく。



法面事業は技術力とブランド力で国内トップクラス

●会社概要

創 業：1956（昭和31）年3月19日

所 在 地：東京都中央区銀座7-12-7

事業内容：自然回復緑化、斜面緑化、斜面保護、地盤改良、土壌汚染対策、爆砕、保温保冷耐火、構造物補修などの設計施工及び耐火物製造販売

資 本 金：8,000万円

社 員 数：425名（2020年4月1日現在）

URL：https://www.toko-geo.co.jp/



作業を自動化、ロボット化の開発にも取り組んでいる。企業スローガンを全社員から募り、女性社員からの提案で「環境にやさしく品質に厳しく」を採用し、各作業所で展開している。また「日本一きれいな現場」を全作業所で展開しているが、発注者からの評判も良く、次の仕事につながっている。建設業界は男性職場と思われがちだが、同社には施工管理業務を希望する女性が2021年度は2名入社するなど女性が活躍するフィールドが広がっている。



災害跡地の斜面樹林化工法（施工12年6ヶ月後）

の近接工事に、全方位高圧噴射による地盤改良が可能な「MJS工法」は、地下鉄工事など水平方向の施工で用いられるメイン工法だ。さらに公共物等の経年劣化による補修需要の拡大を踏まえ、リフォーム事業を中心とする補修分野で事業拡大を目指す。一方、CE部門では、プラント設備工事とともに、1990年の日米炉材製造との合併により耐火材を自社で製造。焼却炉内部の耐火材の吹付に着手し、この耐火材技術をピザ窯に応用し、組み立て式のピザ窯も販売している。

瀬高社長が「技術でリードしてきた会社」というように、新技術開発にも力を入れている。法面事業では、吹付